

神社の杜（五十六）

「あらー！こんな御札ありました？」



右から「養蚕札」・「昆蟲除札」・「盗難除札」・「大祓札」

武蔵御嶽神社では、いろいろな御札を江戸の昔より信者の皆様に頒布しています。代表な御札がオオカミの御姿を映した「大口真神」の御符です。このような紙一枚に刷った御符を当社社では「切札」と称しています。切札といってもこの御札が「とおきの御札」とか「この御札が最後の手段」という意味ではないようです。

神社の御符授与所には置かれてなく、一般の参拝者に知られていませんが、講中札・参拝札・代参札・盗難除札・養蚕札・昆蟲除札などの切札も頒布されています。昆蟲除札は稲や野菜につく虫を除けるお札、農業など科学的に駆除できるようなになった今では神様をお願いすることでは無くなつてしまったのかもしれません。また、養蚕札は、宇氣母智神（保食神）の文字、それと稲穂と桑の葉を持つ女性神の姿が刷られたお札です。どちらも需要や養蚕業が減つた今では殆ど頒布されることが無くなった札で、存続が危惧されるお札です。それとは反対に、昨年から急に脚光を浴びてきたお札があります。それは、「御嶽神社厄神祭」と称される切札です。このお札、六月三十日に行われる夏越大祓から茅輪が片付けられるほぼ一週間だけ地元を中心に頒布されるお札です。

神社に設置された茅輪を数字の八を書くように三回くぐり、最後にこの札を頂戴し、帰って家の入り口（表と裏）に貼るのが習わしです。なぜこのお札が目目され始めたかという点、それはお札に書かれた文に隠されていました。横三寸縦一尺の紙の上の半分「御嶽神社厄神祭」の文字、その下に一回り小さな文字で二行にわ

片柳 茂生

たり「千磐破軻弭乃古巳呂乎汗計宣之實止迹與羅之異國耶魔比」と書かれている非常にシンプルな切札です。ここで重要なのは下方に書かれた二行の文です。読みについては不確かなことを書くことができませんで控えさせていたのですが、意味は「御神威に依つて、異国から入つて来る病気を封じ人々をお護ります」と解釈できそうです。これはまさに新型コロナウイルス感染症に対処するような内容ではありませんか。

昨年は、コロナウイルス感染によつて妖怪アマビエもその存在を広めました。そして当社の「御嶽神社厄神祭」のお札も百年以上の時を過ぎて広く一般にも頒布するようになりまし。絶滅が危惧されているお札も、何時必要になるかもしれません。今ここで終わりにすることはできませんね。



千磐破軻弭乃古巳呂乎汗計宣之
實止迹與羅之異國耶魔比

あ と が き

今世界中がコロナウイルスに翻弄されている中、お陰様で新年の初日の光と共に清々しく迎える事ができました。また神社では皆様ご安心・安全にご参拝頂けるよう、トイレや待合所など参拝者が触れる場所へ、コロナウイルスも不活化する抗ウイルス・抗菌無光触媒（SKYBE-783）を施工致しました。まだまだ予断の許さない状況ではありますが、ワクチン接種など明るい兆しも見えております。今は頑張り時と、神職一同皆様のご健勝をご祈念し日々過ごしております。

最後に、この半年間を無事に過ごせたことを御嶽大神に感謝し、毎年丁寧に教授下さる先生方、ご奉納頂きました皆様、各種祭典や行事に御協力・御協賛下さいました崇敬者の皆様、各所関係機関の皆様、御礼申し上げます。また、日本人形玩具学会会員齋藤慎一先生、写真家鶴巻育子様、玉稿を有難うございました。

令和三年 三月十五日発行

〔年二回発行・非売品〕

編集 武蔵御嶽神社

TEL 〇四二八（七八）八五〇〇

FAX 〇四二八（七八）九七四一

http://www.musashimitakejinja.jp/

印刷 株式会社印刷